

神海丸 (Letter from the Chief Radio Operator)

時差 JST+3h

12時現在 N17-45 E176-57 天候 晴れ 気温 28.0°C 針路 125° 風向風速 WNW 3.8m/s

とうとう北緯 20° を越え、東経もまもなく 180° 日付変更線を通り西経に入ります。

2月1日(日本時間)からいよいよ操業開始です。 船内の様子をお知らせします。

ちょっと専門的ですが・・・神海丸の実習には大きく3つの省庁が関係しております。

◆水産庁

「マグロ漁業実習」という言葉を使用しておりますが、水産庁から許可された(委託された)生物(資源)調査です。

実習ではマグロだけでなくサメやマンボウ時にはウミガメも釣れます。漁獲された位置や大きさ(体長等)を記録し後日データを提供します。

資源量を算定するにあたり毎年同じ時期に同じ海域で行う実習は貴重なデータを得ることになるのでです。

◆文部科学省

学習指導要領では、この実習を「総合実習」と記載しております。英語や数学と同様に生徒にとって卒業に必要な実習です。

◆国土交通省

船舶の資格を取得するには、一定期間(1年3月以上)乗船実習を行い同時に定められた内容の訓練を受けなければなりません。またその訓練には、①本邦(日本)より2000海里以遠の海域にでかけること、②外国の港に出入りすることも求められています。

そのため、神海丸は①日付変更線を越え、②ハワイに寄港することになっています。

※ハワイ寄港は決して修学旅行ではないのです。

ハワイ方面以外に、インドネシアなど南に向かうこともできますが、気象・海象、物資の補給、現地の医療、緊急時の出入港の可否、日本との直行便(空路)、治安・政治情勢など慎重に検討し神海丸(島根県)はハワイを寄港地としています。

【生物(資源)調査】

まもなく漁業実習(生物(資源)調査)が開始されます。

漁獲された生物の調査方法について実際に甲板上で説明が行われています。

・・・暑い～・・・





実習生をマグロ？に見立てて・・・体長測定！
時々実習生（人）より大きいマグロやカジキが漁獲されます。



こちらは、ブラン（釣り糸）回収の要領について説明しているところです。

※キラキラ輝く南の海になってきました。



こちらは↓船尾で行われた投縄に関する説明です。早朝4時?5時?ごろから行われます。





生徒食堂でも安全指導が行われました！



乗組員による作業確認！

乗組員が集合し作業の確認もおこなっています。



Photo by **AONO** (Chief Radio Operator) **FUKUDA** (Instructor)
MORI (Instructor)